

局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査

555百万円(530百万円)

環境保健部企画課保健業務室

1. 事業の概要

幹線道路沿道の局地的大気汚染と健康影響との関係については、十分な科学的知見がなく、国会における附帯決議において早期に調査を実施することが求められるとともに、大気汚染による健康影響に係る訴訟においても大きな争点となってきた。

平成17年度から平成22年度まで幹線道路沿道の住民を対象とした大規模な疫学調査「局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査 - **そら (SORA) プロジェクト** - 」を実施し、幹線道路沿道における局地的大気汚染と呼吸器疾患との関係についての解明を行うものである。

2. 事業計画

- (1) 学童(小学生)を対象とした5年間の追跡(コホート)調査(愛称:**そら (SORA) しらべ隊**)を平成17年度から開始したところであり、平成18年度以降も継続して調査する。(平成17年度から平成22年度)
- (2) 平成18年度より、未就学児を対象とした症例対照研究を実施する予定。(平成18年度から平成22年度)
- (3) 成人を対象とした調査を実施して、局地的大気汚染と健康影響との関係を評価する予定。(平成19年度以降)

3. 施策の効果

従来から医学的知見が不十分とされてきた幹線道路沿道の局地的大気汚染と呼吸器疾患との関係について、新たな知見を加え評価を行うことが出来る。

未就学児を対象とした疫学調査研究のデザインイメージ

未就学児症例対照調査(ケース・コントロール・スタディ)

1歳半健診時に調査対象者を登録し、3歳健診時に健康調査を実施。
期間中の新規発症者を症例(ケース)とし、同地区の健診受診者の同月齢児を対照(コントロール)として選定。
ケースとコントロールの一部を対象として選定し、詳細調査と曝露評価を実施

